

17:1 イエスは弟子たちにこう言われた。「つまずきが起こるのは避けられない。だが、つまずきを起こさせる者は、忌まわしいものです。」

17:2 この小さい者たちのひとりに、つまずきを与えるようであったら、そんな者は石臼を首にゆわえつけられて、海に投げ込まれたほうがましです。

17:3 気をつけていなさい。もし兄弟が罪を犯したなら、彼を戒めなさい。そして悔い改めれば、赦しなさい。

17:4 かりに、あなたに対して一日に七度罪を犯しても、『悔い改めます。』と言って七度あなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」

17:5 使徒たちは主に言った。「私たちの信仰を増してください。」

17:6 しかし主は言われた。「もしあなたがたに、からし種ほどの信仰があったなら、この桑の木に、『根こそぎ海の中に植われ。』と言えば、言いつけどおりになるのです。」

17:7 ところで、あなたがたのだれかに、耕作か羊飼いをするしもべがいるとして、そのしもべが野らから帰って来たとき、『さあ、さあ、ここに来て、食事をしなさい。』としもべに言うでしょうか。

17:8 かえて、『私の食事の用意をし、帯を締めて私の食事が済むまで給仕しなさい。あとで、自分の食事をしなさい。』と言わないでしょうか。

17:9 しもべが言いつけられたことをしたからといって、そのしもべに感謝するでしょうか。

求道者などが、その信仰を萎えさせるようなことのないように、気をつけましょう。もしも何か心配なことがあったら、できるだけケアをしましょう。

また悔い改める人は赦しましょう。そのためには「信仰を増してください」と祈りたくもなるでしょうが、信仰は多いか少ないかではなく、あるかないかです。小さな「からし種ほどの信仰」でも、種のように生きた信仰なら主の大いなるみわざを見ることができのです。生きた信仰とは成長するということです。成長への願いがあるでしょうか。もしもそれが薄いなら何か信仰の不健全さをかかえていると思われれます。そのままにしないで、祈り、告白して、主のみわざによって解決していただきましょう。

また信仰が生きているかどうかを見るには、主のために役に立ちたいかどうかでも分ります。そのような願いのある人とは、いくらかでも主のためにしたいですから、まだまだ「役に立たない」とも思うでしょう。一方、その願いの薄い人は、これだけやっているのから十分だ…または、やっているのに何も良いことがない…などと思ってしまいます。

あなたはどちらでしょうか。その信仰は種のように生きていて、可能性に満ちているでしょうか。

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

